

HIV-1 Nef タンパク質

05-011 20 µg, 05-012 100 µg

保存温度：4℃または-20℃で輸送、保存は-20℃（凍らせない）

製品：大腸菌で発現させた全長の HIV-1 Nef タンパク質（tag は付いてない）

用途

- 1) HIV-1 Nef の機能解析を目的とした分子生物学的、あるいは細胞生物学的研究に使用できる。
- 2) HIV-1 Nef 抗原の定量を行う場合のスタンダードとして使用できる。
- 3) ウェスタンブロット法や ELISA 法を用いた抗 HIV-1 Nef 抗体の検出に Nef 抗原として使用できる

純度：SDS-PAGE（CBB 染色）で 90%以上が Nef 蛋白質

濃度：0.48 mg/ml（BCA 法で決定）

性状：50% グリセロール，20 mM Tris-HCl（pH 7.5），50 mM NaCl，10 mM メルカプトエタノール

背景：HIV-1 Nef は、エイズウイルス複製の初期に合成されるアクセサリ蛋白質の1つで、感染細胞内に多く存在する。当初、ネガティブ因子(negative factor)からこの名前がついたが、現在では、エイズウイルスの最も重要な生物学的特性を担う蛋白質として注目されている(1)。この蛋白質は、宿主 T 細胞にある情報伝達蛋白質に直接作用し、エイズウイルス感染に、あるいは感染細胞の生存維持に有効に働き、非感染細胞に対しては、アポトーシスを誘導する(2)。また、エイズウイルスの感染に重要な CD4 や MHC といった細胞表面レセプター蛋白質のエンドサイトーシスや分解にも関係している。

データリンク： ProtKB: [P03406](#) (NEF_HV1BR), GenBank: [AAA44988.1](#)

参考文献

1. Arora VK *et al* “Nef: agent of cell subversion.” *Microbes Infect* **4**: 189-199 (2002) Review PMID: [11880052](#)
2. Fackler OT and Baur AS “Live and let die: Nef functions beyond HIV replication.” *Immunity* **16**:493-497 (2002) Review PMID: [11970873](#)
3. Adachi A *et al* ” Production of acquired immunodeficiency syndrome-associated retrovirus in human and nonhuman cells transfected with an infectious molecular clone.” *J Virol* **59**: 284-291(1986) PMID: [3016298](#)

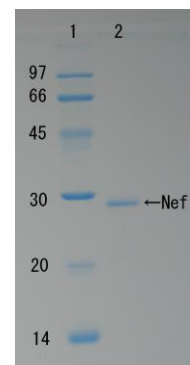


図1. HIV-1 Nef タンパク質のポリ
アクリルアミドゲル電気泳動